

令和元年10月11日

守谷市議会議長 殿

会 長： 高橋 典久 印
報告者： 堤 茂信 印

議会改革推進会議 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日	令和元年10月11日（金）
視察・研修場所	神奈川県海老名市役所庁舎
視察・研修項目	議会改革の取組について
参加者	守谷市側 議会事務局 岩地係長 高橋（典）会長、青木副会長、砂川委員、神宮委員、堤委員、 浅川委員、末村委員、山田委員、市川委員、梅木議長
	相手側 議会事務局 武井係長 市議会 改革特別委員会 久保田委員長、氏家副委員長
視察・研修目的	海老名市議会では、平成25年11月に「海老名市議会改革特別委員会」を設置し、議会改革に取り組んでおり、守谷市議会における今後の議会改革の参考とする。
視察・研修内容	海老名市議会との意見交換、及び議場の現地視察
視察・研修総括 （今後の取組み等）	海老名市議会は、早稲田大学議会改革度ランキング総合137位と積極的に議会改革に取り組んでいる。海老名市議会が行っている議案書及び政務活動費収支報告書のホームページ公開や請願・陳情者の発言機会の保障など守谷市議会では行っていない取組があり、今後の守谷市議会における議会改革の参考となる有意義な意見交換が行えた。

視察・研修内容

【概要】

- ・海老名市…神奈川県中央に位置する。26.59km²（守谷市の約74%）。
人口13.2万人（守谷市の約1.9倍）。
主な特産品は、いちご、ワイン、えびな吟醸等。

1. 議会改革の取組について

(1) 議会改革の取組に至った経緯

- ・平成24年11月 新議長が議会改革着手を表明
…日経グローバルの議会改革ランキングで神奈川県内最
下位になったことがきっかけになった。
海老名市議会「議会改革検討会」を設置
議会に関する様々な検討に着手（議員全員がWGに参画）
 - >透明性のある開かれた議会のあり方WG
 - >議会運営のあり方WG
 - >議会活性化WG
- ・平成25年8月 議会改革検討会、議長へ答申
- ・平成25年11月 海老名市議会「議会改革特別委員会」を設置
更なる議会改革に着手

(2) 議会改革の取組実績

項目を洗い出し、出来るところから着手した。実施する改革内容は全会派合意を前提とした。そして最後に議会基本条例を制定することとした。

<取組実績>

- ・会議結果を会派別から個人別に変更
…会議結果は会派ごとの結果で報告していたが、全ての議員がそれぞれの議案に対し、どのような判断をしたかわかるよう個人別での表記に変更
- ・議案書のホームページ公開
- ・市議会フェイスブックの立ち上げ（平成25年5月より）
- ・一般質問時間の変更（質疑込み35分⇒質問のみ25分）
- ・政務活動費収支報告書（領収書含む）のホームページ公開
- ・請願・陳情者の発言機会の保障
…委員会開催中に休憩をとり、請願・陳情者の発言の場を設ける
- ・議会報告会の毎年開催（平成27年5月より）
- ・常任委員会による行政視察報告会の実施
…各常任委員会（総務、文教社会、経済建設）が実施している行政視察の

内容を市民並びに行政職員にも情報提供・情報共有するため、定例会における常任委員会にて視察報告を実施

- ・委員会のインターネット生中継の実施
- ・議会基本条例制定（令和元年9月定例会）
- ・タブレット端末の導入（令和元年9月より）
- ・本会議における傍聴時の託児サービス（平成19年6月より）

2. その他、補足

- ・議会報告会は、会津若松市議会を参考にした。
- ・議会報告会は当初は大勢の市民が参加してくれたが、現在は参加者が固定化、少人数化していることが課題。
- ・愛知県犬山市議会を参考に、視察内容の市民への報告を行っている。
- ・インターネット中継については当初理事者側の反対もあったが、予算決算審議からユーストリームを使ってインターネット中継を開始した。（現在はユーチューブに移行。）
- ・フェイスブックについては、使用基準を策定し、それに基づいて積極的に情報発信を行っている。
- ・本年9月よりタブレットを導入。アプリはサイドボックスを採用。
- ・一般質問については、以前は会派ごとに順番を決めて行っていたが、今は個人ごとに行うことにしている。
- ・議会改革の検証、新たな改革にどう取り組んでいくかが課題と認識している。

3. 質疑応答

Q) 各常任委員会の視察報告を行っているということだが、会派視察の報告は行っているか。

A) 報告会は行っていないが、報告書の提出を行い、市民の要望があれば議会事務局で閲覧できるようにしている。

Q) 人事案件の候補者との面談とはどのようにして行っているのか。

A) 副市長、教育委員、選挙管理委員について、委員選任の議案の際、非公式に本会議前に面談（委員になる動機などの意見を聞く）をしている。

Q) 一般質問のどのようなペースで行っているのか。

A) 初日11人、2日目10人のペースで行う。9時に開会し、2人毎に15分休憩を取って行っている。終わりは遅いと18時半頃になる。

Q) 執行部とのヒヤリングはどうしているか。

A) 形式的に決めてはいない。議員が個別に行っている。

Q) ヒヤリングをきちんと行わず、本番でいきなり質問を行って混乱はないか。

A) 事前通告に詳細に内容を書いているので、特に大きな混乱はない。

Q) 議会改革に着手し、議員の意識改革について感じることはあるか。

A) 情報公開の部分では、だいぶ変わってきたように思う。

Q) 議案に対して反対、賛成の討論は活発に行われるか。

A) 委員会の中で活発に行われている。

Q) 「請願・陳情者の発言機会の保障」とはどのように行っているのか。

A) 委員会審査前の休憩時間に、説明を希望する請願・陳情者から主旨の説明時間を15分程度取っている。(議事録には残らない。)

Q) 家庭ごみの有料化の記事を見たが、どのような経緯、内容か。

A) 近隣3市で運営しているごみ焼却場の炉を更新したが、それをきっかけにごみの削減と個別収集を行うとの理由で有料化することとなった。40Lの袋が1枚80円。ごみの量は有料化前の8割程度に抑えられるとの予測をしている。

Q) 「議会への手紙」の取組をしないとした経緯は。

A) 市民の方からの広聴を目的として「議会への手紙」を検討したが、出された意見に対して議会としての回答をまとめ切れるか、との議論になり、取組をしないこととした。

Q) 議会報告会で出された市民の意見に対する回答はどうしているか。

A) 意見として持ち帰り執行部に伝えさせていただく、ということを基本としている。

Q) 「子ども議会」を取組まないこととした理由は。

A) 毎回、子ども議会を議会として運営できるか、形骸化してしまうのではないか、との議論があって取組まないこととした。

Q) 議会報告会の進め方はどのようにしているか。

A) 一部は当該年度の予算関連の話し、二部はテーマを決めて意見を拝聴する形にしていたが、今はフリーテーマでディスカッションするよう形を取っている。市民からの意見に対しては、ややもすると議員個人の回答になってしまいがちで議会としての受け答えが難しいと考えている。

Q) 議会報告会の参加者が固定化、少数化している現状の改善策はあるか。

A) 議会報告会で、市民に関心のありそうな講演会をセットで行ってはどうか、という話しは出ている。また、高校や子育て世代にチラシを配るなどの取組は行っているが、参加者増にまではつながっていない。議会報告会を何で知ったかという参加者アンケートの結果では、タウン誌を見てきたという回答が多かった。

Q) 本会議の傍聴者数はどうか。

A) テーマによってはその関係者が傍聴には来るが、傍聴席が埋まるようなことはない。インターネットの視聴もさほど多くはない。

Q) 議会からの政策提案的な活動はあるか。

A) 議員個々の一般質問の中で提案することはあるが、議会としての政策提案を行うまでは至っていない。

Q) 議長の選挙は毎回行っているのか。

A) 議長の任期は2年で、その度に選挙を行っているが、事前に役職調整会議の中でどの会派から議長を出すか決めている。委員会の委員長も同様。

Q) 議会から監査役は出しているか。

A) 出している。都市計画審議会にも出しているが、その他の審議会には出していない。

以上